

産直 いやさか直売所

行こうよ! Vol.11 (一関)

人気は毎週土曜日の つきたてのおもち



北上大橋から一関側約500mの国道284号沿いに位置するいやさか直売所。朝6時ごろには野菜を出荷する会員が集まり、7時の開店を待ちきれないお客さんも訪れます。7人の会員は全員女性ですが、朝には手伝いの家族も集まり、お茶を飲みながら情報交換します。

季節の野菜を中心に、生みたての卵、漬け物、山菜やキノコなどが並びます。一番の人気商品は、毎週土曜日限定の「もち」。地元産のコガネモチを会員が早朝に集まってつき、白もちにきな粉を添えたものが店頭並びます。土曜日はおもち目当てのお客さんが多く、早い時間に売り切れることが多いそうです。

4月の開店、12月の閉店時のもちぶるまい、10月下旬にはいものこぼっとのふるまいなど、季節のイベントも行っています。お盆の8月12、13日は早朝5時に開店。お盆花などを求める人たちにぎわいます。

今年の4月からは、東部学校給食センターへの野菜の供給も行っています。

●直売を始めて30年

近在ではいち早く直売に取り組んだ同直売所。約30年前、無人販売からスタートし、数年後には有人体制に。平成10年、現在の北上大橋建設に伴い現在地に直売所を建設し、11年から営業しています。



「いろいろなお客さんと会うのが楽しい。野菜の調理方法を教えたり、教えられたり。仲間も年をとり、会員も減ってきましたが、体が動く限り続けていきたい」と佐々木則子会長。揃いのエプロンを身につけた会員の皆さんも笑顔でうなずいていました。

- ◆運営…いやさか直売所 (佐々木則子代表) ☎43-3711
- ◆場所…弥栄字沼畑21-2
- ◆営業時間…4月～12月 7:00～16:00(毎週 日 休み、1月～3月は休み)



宝くじの助成で整備

涌津保育園(花泉)

◀ 涌津保育園幼年消防クラブはピラフォン、キーボード、シンバルなど楽器6個を整備。運動会やお遊戯会での演奏活動を通じて、防火を呼び掛けます。

猿沢一区自治会(大東)

▶ 猿沢一区自治会はテント5張り綿菓子機・ポップコーン機各1台、放送設備一式を購入。佐藤軍一会長は「盆行事で使用し、大変喜ばれた」と語りました。

小梨自治振興協議会(千厩)

◀ 小梨自治振興協議会は、教育キャンプ用などのテント計25張を購入しました。世田谷区と小梨地区の子供たちの交流(バル交流)などに活用します。

100歳おめでとうございます

▶ 通所するデイサービス主催の誕生会で大勢に祝福されたツエさん。「なんとうれしい。ありがとう」と笑顔でした。

菊地ツエさん(中央町) 9月27日

■お詫びと訂正■

広報10月1日号8ページ「市花いっぱいコンクール」入賞者で、下記の1団体について記載もれがありました。お詫びして訂正します。

▶ 花壇部門東山・地域の部奨励賞 長友会長坂8区老人クラブ

ハーフマラソン 記録を目指しゴールへ

第29回一関国際ハーフマラソン大会は9月26日、行われました。ハーフマラソン(21.0975km)、10km、5kmの男女、年齢別の36種目に、国内外の招待選手を含む1840人がエントリーし、健脚を競いました。

晴れ渡る秋空の下、午前9時50分、号砲とともにハーフの部がスタート。入賞、自己ベスト、完走とさまざまな目標を持った選手たちがゴールを目指しました。沿道では、旗を持った観衆が「頑張れ」と盛んな声援を送っていました。

競技の結果、駒沢大学陸上競技部の飯田明徳選手が男子ハーフマラソン18歳29歳で優勝。シドニーオリンピック男子マラソンで6位に入賞した諏訪利成選手(日清食品グループ陸上競技

部)は同30歳34歳で1位となりました。

レースを終えた選手たちには、手作りのおにぎりとお豚汁が振る舞われたほか、一関鍼灸按摩マッサージ指圧師会によるマッサージサービスなども行われました。

本庁舎前特設会場で行われた表彰式では、種目ごとの上位入賞者に賞状と賞品が授与されました。海外のマラソン大会への派遣選手を決める抽選でホノルルマラソンへの派遣が当たった伊藤充夫さん(61) 仙台市はランナー歴10年。「この大会には今年で7回目。いい時期に開催される大会で、毎年楽しみにしています」と話していました。



上 スタートの号砲で一斉に走り出した選手たち
下左 ハーフマラソンで優勝した飯田明徳選手
下右 大勢のボランティアが大会を支えました



命運かけた軍議を再現

唐梅館 絵巻

左 「エイ、エイ、オー」と全員で氣勢を上げました
下 力強く口上を読み上げる藤岡さん(中央)



第10回唐梅館絵巻は9月26日、東山町の唐梅館総合公園などを会場に行われ、時空を超えた歴史絵巻が繰り広げられました。

今年の総大将・千葉胤胤公役は、俳優の藤岡弘さん。騎馬武将を含む総勢333人を従え、澄みわたった青空の下、長坂商店街から唐梅館総合公園までを勇ましく練り歩きました。

軍議では、葛西氏の重臣千葉

一族が天正18(1590)年、小田原参陣で豊臣秀吉に従うか否かを決した場面を再現。藤岡さんが対決の口上を力強く読み上げると、会場の熱気は最高潮に達し、市内外から訪れた約9千人の観衆を魅了しました。

長坂商店街では、よさこい演奏や総祝い千人踊りなどが華やかに繰り広げられたほか、多彩なイベントが催されました。